

まちのわだい



日野川の自然に触れる

きしもと鮎友釣り大会

第20回きしもと鮎友釣り大会が、7月28日、伯耆町役場裏の日野川土手で開催されました。

この大会は、鮎釣りをとおして自然を感じ、日野川を大切にしてもらおうと、日野川水系漁業協同組合岸本支部が毎年開催しています。

今大会は、地元をはじめ島根県や岡山県から46名が参加し、予選と決勝の2回、制限時間内に釣り上げた鮎の数を競いました。この日の日野川は、水位が少し低いものの、鮎釣りには適しているということ

で、よごコンディションとなりました。参加者は竿先や手元に神経を集中させ、鮎を釣り上げていました。

優勝は、決勝で11匹の鮎を釣り上げた米子市の田村勝義さんで、伯耆町からは、9匹釣りた丸山の椿昌章さんが3位となりました。



思い思いのポイントで鮎を狙う選手



釣れた鮎を計量

夜空に舞う2,000発の花火

きしもと豊年盆踊り花火大会

毎年恒例のきしもと豊年盆踊り花火大会が、8月15日、岸本中学校グラウンドで開かれ、町民や帰省者などで賑わいました。

今年で50回目となるきしもと豊年盆踊り大会は、岸本風神太鼓振興会の演奏で開幕。ちびっこ踊りや八郷小学校の児童による銭太鼓の披露、きしもと音頭、2,000発の打上花火など盛りだくさんの内容でした。

祭りのフィナーレでは、毎年大人気の大抽選会が行われ、32型ハイビジョンLED液晶テレビやペンション宿泊券など豪華賞品が当たりました。



八郷小学校の児童による銭太鼓



夜空を彩る花火

イワナをゲット!

大山日光清流まつり

日光地区の自然の素晴らしさを感じてもらおうと、8月4日、日光小学校横の白水川河川敷で大山日光清流まつりが開催され、子どもたちがイワナのつかみ取りに挑戦しました。

日光地区協議会の主催で行われているこのイベントは、今年で6回目となります。この日は日光地区の住民や、帰省した家族、日光地区と交流している米子市義方地区の住民など、たくさんの人が訪れました。

イワナのつかみ取りでは、水温10℃という白水川の冷たさに耐えながら、川底や窪みに隠れたイワナを捕まえていました。

また、特設ブースでは、焼きそばやかき氷が振る舞われ、訪れた人たちは、おいしそうに味わっていました。



手づかみでイワナを捕まえました



獲れたイワナは塩焼きに

新成人を祝う

伯耆町成人式

平成25年度伯耆町成人式が8月15日、鬼の館で開催され、87人の新成人が参加しました。

今年の新成人は、平成5年4月2日から平成6年4月1日生まれで、伯耆町では114人が該当します。式典では始めに、鬼面太鼓振興会の演技や町長のあいさつが行われた後、新成人を代表して嶋田陽平さんが、「これからは成人として、そして社会人としての断固たる自覚を持ち、社会の一員としてその職務を全うできるように、鋭意努力することを誓います」と決意を語りました。

式典終了後、境港市在住の元サッカー女子日本代表主将大部由美さんを招き、「夢を叶えた瞬間発力と反骨心」という演題で記念講演が開催されました。

終了後会場では、旧友や恩師との再会を喜ぶ新成人の姿も見られ、それぞれの近況や学生時代の思い出話に花が咲き、和やかな雰囲気になっていました。



新成人誓いの言葉を述べる嶋田陽平さん



講演に聞き入る新成人たち